

# 液化室だより

東大物性研究所 <http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/>

## 寒剤供給価格の改定

先日行われた平成18年度第1回低温委員会において、平成18年度の寒剤供給価格が決定しましたので、お知らせします。なお、新価格は5月供給分より適用します。

今回の改訂では、液体ヘリウムの供給価格を15円引き上げましたが、これは主に数年前から行われている原料ガスの値上げの影響によるものです。また、2006年3月下旬に液化機が故障した為、その修理費なども含んでいます。

### 平成18年度 供給価格

	所内	所外
液体ヘリウム	260円	315円
液体窒素	45円	60円

※液体窒素の価格変更はありません。

#### 【15円の内訳】

- 11.5円：原料ガスの値上げ分
- 3.5円：修理費分

### 原料ガスの価格推移

	GHe (円/m <sup>3</sup> )	LN2 (円/L)
平成15年度	1,396.5	31.9
平成16年度	1,459.5	31.9
平成17年度	1,480.5	31.9
平成18年度	1,512.0	33.6

※平成15年度から平成17年度までのLHeの供給価格は、245円でした。

※4年間で115.5円/m<sup>3</sup>値上がりしました。

※今年度の値上げは重油高騰も反映されています。

また、回収率が80%弱と非常に悪く、年間20,000m<sup>3</sup>を超えるガスを購入しています。従って、今後も回収率の低迷が続くようであれば更なる値上げを考えなければなりません。

## 回収率向上のために

2005年から回収率が低迷しているため、6月中旬頃を目途に研究室の回収系をチェックします。詳細は追って連絡しますが、研究室でも回収ラインや実験装置等の確認を行って下さい。

また、MPMSやPPMSの充填口の改良もしてもらうこととなりますので、合わせて確認して下さい。改良例は、液化室ホームページにあります。

MPMSとPPMSについて →

<http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/returntec/returntec.html#equipment>

回収率の確認 →

<http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/return/return.html>

ヘリウムを使用する際の注意点 →

<http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/returntec/returntec.html#notice>

問い合わせ [ E-mail: [ekika@issp.u-tokyo.ac.jp](mailto:ekika@issp.u-tokyo.ac.jp) 内線:63515 ]